

もしも
の時の

災害時の ごみの出し方

大規模な地震や台風などにより大きな災害が発生した場合、人命救助やライフラインの確保が最優先になります。その後は大量に発生するごみの処理が大きな問題となります。迅速にごみを処理することが速やかな復旧・復興につながります。

ごみ収集車やごみ処理施設などの被害状況によっては、「ごみ出し」の方法が変更になる場合もあります。

☎環境交通課 環境交通係 ☎(27)3316

1

生活ごみと 災害廃棄物は 分別しましょう

一緒にまとめて捨てたほうが早く片付けられそうですが、ごみの収集にかえて時間がかかってしまいます。

生活ごみの中には、食べ残しなどの生ごみが多く含まれているため、処理が遅れると悪臭や害虫発生の原因になる恐れがあります。



2

災害廃棄物を 分別しましょう

分別できていないごみは、仮置場に運んでも、さらに分別等をしないと処理業者に引き渡せないため、処理に時間がかかります。

宇土市では、令和2年7月豪雨で発生した災害廃棄物を実際に処理した事業者と検討を重ね、少しでも早く処理ができるよう、次のような分別を考えています。(注)災害の種類によって分別が変わることがあります。

- ①木くず ②コンクリートがら
- ③家電類 ④畳
- ⑤布団類 ⑥金属くず
- ⑦ガラス陶磁器くず
- ⑧瓦 ⑨石膏ボード・スレート板
- ⑩危険物

分別
ありがとう

3

生活ごみは ごみ置き場に。 災害廃棄物は 仮置場へ

大量に発生した災害廃棄物は、通常では家庭ごみとして出されないものや、被害により通常通りの分別では処理できないものが多く含まれます。

そのため、ごみ置場とは別に、災害廃棄物専用の仮置場を被災地域内に開設します。なお、高齢者世帯などで搬送手段がない方には、戸別収集やボランティアセンターと連携した運搬支援体制も検討します。



災害時には皆様にご不便・ご迷惑をおかけすることもあります、
少しでも早く災害廃棄物を処理できるよう、
ご理解とご協力をお願いします。

本市の中学校部活動は 今年9月から「地域展開」を始めます!



行長ちゃん

これまでの部活動の仕組みは少子化による部員数の減少や教職員の負担の増加により続けることが難しくなっています。

これまで学校教育活動として行ってきた部活動を、地域のスポーツ・文化団体や地域の指導者と学校が連携して支える「地域クラブ」の仕組みに段階的に変えていきます。

この仕組み(地域展開)は、子どもたちのスポーツ・文化活動機会の確保や専門的な指導の充実、教職員の負担軽減、持続可能な活動環境の実現が期待されます。

今回は、地域クラブの概要と9月から活動を開始する種目の中心となる指導者を紹介します。

地域クラブ(宇土市立中学校クラブ)の概要

▶活動開始 令和8年9月から

▶会 費 3,500円/月(4か月ごと前払い)

※地域クラブの運営費などに充てられます。

各種目で別途活動費が発生する場合がございます。



宇土市公式HP

地域クラブの中心となる指導者(まずは10種目を予定)



大槻 晋さん



本田 英二さん



杉野 朋之さん



江川 佳貴さん



園田 尚一郎さん



光永 和之さん



梶山 俊秋さん



馬場 一雅さん



渡辺 佳助さん



高木 佳央理さん

◆お問い合わせ先◆

NPO法人うとスポーツクラブ ☎090(3313)5081(地域クラブ専用回線)